

## 2020年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科情報アーキテクチャ専攻

【研究代表者氏名】：松尾 徳朗

【研究代表者氏名フリガナ】：マツオ トクロウ

【研究代表者職】：教授

【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

・なし

【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

・なし

【研究課題名】：高度専門職人材育成を目的としたブレンディッド型教授法の教育サービスの効果測定と妥当性検証

【研究実績の概要（600～800字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

・本学においては、ブレンディッド型の授業を展開しており、その需要は高い。一方で、その提供者側の効率性や教育効果に関して不明な点が指摘されている。また、COVID-19における授業形態の変更等による受講者側のニーズや負担を理解することが本学における教育サービスの質の向上において重要である。そこで、教員側への調査として、ブレンディッド型の授業におけるコンテンツ作成やコミュニケーションに関する課題抽出と、それによる授業実施で得られる想定される教育効果に関するアンケートデータを収集した。さらに、学生に対しては、ブレンディッド型の授業の学習効率性およびコミュニケーションに関わるストレスに関するアンケートデータを収集した。これらは、本学の教育サービスに関わる教員側と受講者側のパーセプション分析を可能にし、その基本的な統計分析により基礎的な分析結果を得た。分析結果の一部として、学生にとっては多様な就業形態が存在するためにオンラインでの授業が報告者が想定していた以上にニーズがある点、オンラインでのコミュニケーションによるオフィスアワーで十分な効果が得られる可能性が示唆された点、ブレンディッド型授業の更なる拡充が求められている点、および教員側のブレンディッド型授業の教材や録画授業コンテンツ作成に関する負担の軽減が求められている点が含まれる。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

・細田貴明，丸山博之，松尾徳朗，川田誠一. (December 2, 2020). 学生による授業評価アンケートに対する教員のアクションプラン分析，国際 ICT 利用研究学会全国大会.

・(Invited Talk) Which do you like to teach better, in old fashioned class or in 100% online class after COVID-19?, The International Seminar on Teaching and Learning Paradigm on the Post of Pandemic or Disaster, July 10, 2020

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

・なし

**【作品等】**

・なし

**【科学研究費助成事業への応募状況、採択状況】**

・科学研究費補助金基盤研究（S）、科学研究費補助金基盤研究（A）、および挑戦的研究（開拓）に応募した。

**【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】**

・JST CREST（主たる共同研究者）

**【受賞等】**

・なし

**【その他社会貢献】**

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

・なし

**【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】**

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

・なし

**【研究分担額】**

(研究代表者・分担者名、所属、金額（円）)

・松尾徳朗、東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科産業技術専攻、825,000 円